

「コーチング」が重要

若年社員育成担当者研修

大船渡で

気仙地区雇用開発協

会とシヨクカンエ気仙が主催する若年社員育成担当者研修が二十七日、大船渡市盛町のシール大船渡で開かれた。参加者は若手社員のやる気や可能性を引き出すコーチングの重要性を学んだ。

若手社員の職場定着と企業カアップを目指し、コミュニケーションや人材育成能力の充実、向上を図ろうと企画。一般企業の人材育成担当者、人事担当者ら約二十人が参加した。

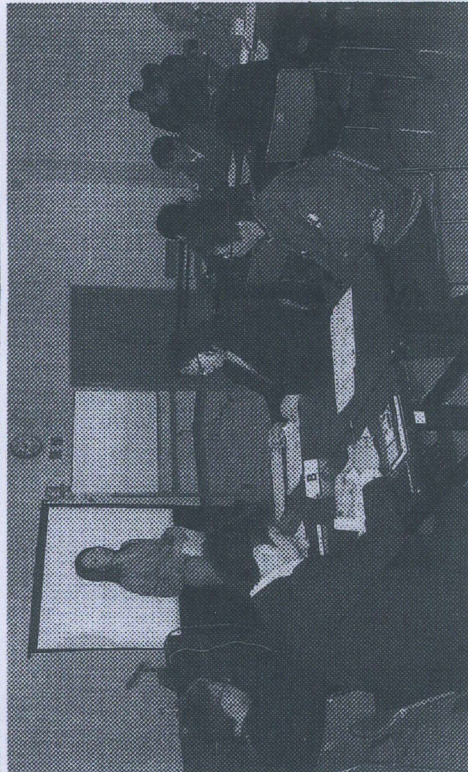
講師はP.H.P.認定の上級ビジネスコーチ・平野順子さんが務めた。「若年社員とのコミュニケーションと人材育成」と題し、現代

社会において注目されているコーチングの意義や活用方法をアドバイスした。

平野さんは、管理職や経営者らが現場の若年社員に対して指示・命令を下す従来の構造とは違い、現代は顧客に近い現場の社員自身が対応を考え、管理職らは支援、育成する姿勢が求められている点を指摘。「これからは『自律発動型人材』を育成・サポートすることが重要」と語った。

その上で相手の能力や可能性を發揮し、発的な行動を促進するコーチングを強調。育成担当者として、若年社員と会話をを行う際の聴き方や姿勢、質問、

意見の伝達方法などのコツを伝えた。グループごとに座った担当者らは、時折メモをとりながら熱心な表情で聴講。企業を支える人材育成の重要性を再確認していた。



平野さん(写真奥)のアドバイスに耳を傾ける受講者=盛町・シール大船渡で